



みやま

これで水辺も大丈夫!! マリンスポーツを体験☆



カヌー・ヨット体験教室 (平成26年7月)

もくじ

「6月定例議会 結果を報告」..... 2~6P

「議会の活動報告」..... 7~9P

10名の議員が町政を問う!

「一般質問」..... 10~19P

町内の頑張っている団体を紹介!

「がんばっちょる」..... 20P

黒田小学校の児童が、水辺での注意事項を学習し、カヌー等のマリンスポーツを体験しました。最初は緊張していましたが、次第に笑顔を見せ、元気な掛け声を聞かせてくれました。

ひと夏の良い思い出になったのではないのでしょうか。

平成26年第4回みやこ町議会定例会を6月10日から6月20日までの11日間にわたり開催しました。町長から11件の議案、また、議員から2件の意見書(案)が提出されました。

平成26年第4回定例議会議案議決結果及び議員別議案賛否一覧表

議案名	議員名														審議結果	
	橋本 貞助	柿野 正喜	中山 茂樹	小田 勝彦	田中 勝馬	飯本 秀夫	中尾 昌廣	金房 眞悟	大東 英壽	柿野 義直	熊谷みえ子	原田 和美	中尾 文俊	肥喜里和隆		浦山 公明
専決処分の承認を求めること (平成26年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計 補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	承認
みやこ町教育委員会委員の任命 (屏 悦郎氏を任命)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	同意
みやこ町教育委員会委員の任命 (古賀 里美氏を任命)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	同意
みやこ町監査委員の選任 (木村 太吉氏を選任)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	欠	同意
京都郡公平委員会委員の選任 (白水 孝大氏を選任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること (原田 正文氏を推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	欠	適任
みやこ町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に 関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
京築広域市町村圏事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町一般会計補正予算(第1号)	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町農業集落排水事業特別会計補正 予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度みやこ町水道事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
「少人数学級推進など定数改善」、「義務教育費国庫 負担制度2分の1復元」を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
労働者保護ルール遵守を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は地方自治法第117条により退席。

※地方自治法第117条 普通地方公共団体の議会の議長及び議員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子、孫若しくは兄弟姉妹の一身上に関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。但し、議会の同意があったときは、会議に出席し、発言することができる。

総務常任委員会審査報告

6月17日、付託された条例の一部改正や一般会計補正予算所管分などの議案を審査。

みやこ町消防団員の退職報償金の額改定

消防団員の退職報償金は、階級や勤続年数により定められているが、今回、国の法律の改正に伴い、一律に約5万円の増額となる。なお、みやこ町の消防団員の定員は、条例では692名だが、4月1日時点での団員数は592名となっている。

階級	勤務年数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
	円	円	円	円	円	円
団長	239,000	344,000	459,000	594,000	779,000	979,000
副団長及び 方面隊長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000
方面副隊長 及び分団長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000
副分団長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000
部長及び 班長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000
団員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000

改正後の消防団員退職報償金

Q 従来より、100名の減となっているが、今後の大きな災害に対応できるのか。

A 消防団再編計画に沿って進めているが、団員が少なく補充したくても、出来ず、実際に活動できない部は、自主的に近くの部と再編するという形で団員数や団の組織をつくっていく予定である。

Q 消防団員の報酬の見直しは。

A 報酬については、標準的な金額がなく、各自治体の事情により定めているが、近年報酬改定をしておらず、近隣市町に比べると若干安い金額になっていると思われる。

職員の町への政策的提案のための研修旅費へ100万円

みやこ町では、職員自らが町の行財政や運営の政策的提案に積極的に参加する体制を整備している。その一環として、先進地への視察に対し旅費を支給する。

Q 良いことだと思うが、その概要は。

A あくまで、職員が自主的に

行くもので、強制ではない。研修計画を事前に提出してもらい、内容を把握した上で、研修費を出す形になる。今後、職員の意見も聞き、要綱を作成する。

庁舎統合整備事業

設計委託料へ650万円

ゆいの郷の風呂場スペース510㎡を事務所に改修する為の設計費。

Q 工事費は、どのくらいか。

A あくまで概算だが、同じような建物、構造等を勘案し、1㎡15万円の改築費で約7600万円を見込んでいます。

Q ゆいの郷のお風呂を廃止す

るに至った理由は。

A サービス券の発行や金額の改定等を行ったが、町内者より町外者の方の利用が多かった。また、勝山本庁舎に各課を集約していこうとする計画の中、庁舎を増築する必要性が生じたが、増築するよりは、今ある施設の用途変更の方が最大の効果だと考え、廃止することにした。

Q このことは、本会議前の新聞報道で知った。重要な公共施設の統廃合は、事前に議会へ報告してほしい。

光ファイバー敷設へ5億2400万円

町内に光ファイバーを敷設するための負担金として、26年、27年の2カ年に、債務負担行為5億2400万円を予算計上。

Q この予算で、町内全域をカバーできるのか。

A 町内全域を網羅する形で昨年、設計をした。できれば、来年中に工事を終え、再来年には、サービス提供が受けられる形で行きたい。



ゆいの郷

産業建設常任委員会審査報告

6月13日、付託された一般会計補正予算所管分などの議案を審査。



伊良原住宅

伊良原住宅4戸建設へ 工事費9000万円

Q 伊良原住宅建設の目的は。

A 伊良原地域は、ダム事業により非常に過疎化が進んでいる。その定住化を促進するため、21年度に2戸、24年度に2戸建設し、今回4戸建設する。

Q これまで建設した4戸は、全て入居されているのか。また、今回建設する4戸の入居の見込みは。

A 今建っている4戸は全て入居している。今回建設する4戸については、広報等で募集し、必ず埋まるように努力する。

プレミアム付商品券追加発行へ 100万円補正

消費税の引き上げによる消費

の落ち込みを緩和し、商店街を始めたとした地域経済の活性化を図るために発行規模を拡大する。

Q 商品券が本当に目に見える形で生かされる方法を、考案していたいただきたい。

A 町内の飲食店で使われている部分も結構あるので、うまく地産地消につなげていけるように、商工会とも相談していきたい。



観光協会へ補助金 850万円

新しくできる観光協会へ、人

件費250万円、事務運営費100万円、事業費500万円の計850万円を補助する。

Q 人件費と事業費の内容は。

A 人件費は事務局長1名と事務局員1名の6カ月分の給与、また、事業費は、協会設立時のイベント経費や、会員の方々が行う地域イベントを支援する経費である。

Q 町が地域イベント支援として行っているゆめづくり事業との関連は。

A うまく、すみ分けが出来るように検討していく。

Q 観光協会施設の新規建設は。

A 新規建設は未定。まずは、観光協会を立ち上げ、錦町にある観光案内所を使用したい。

サル対策

Q サルの捕獲についての現状は。また、有害鳥獣対策には毎年多くのお金が支出されている。

A 被害の多い北九州市、香春

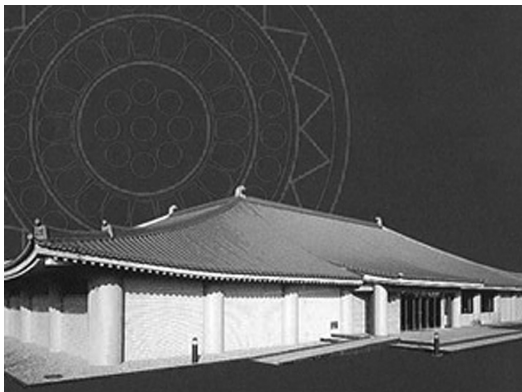
町、みやこ町の共同申請により、県から捕獲許可を得ている。巨大な捕獲器を使つての捕獲を考えている。

労働者保護ルール遵守を求め 意見書を国へ送付

政府に対して、企業が金銭さえ払えば職場復帰の道が閉ざされてしまう「解雇の金銭解決制度」、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定正社員制度」、長時間労働を誘発するおそれのある「ホワイト・カラー・エグゼンプション」の導入を行わないことや低賃金や低処遇のままの派遣労働の拡大につながりかねない法改正でなく、派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うことなどを求めるものです。(送付先) 内閣総理大臣、衆・参議院議長、総務大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、規制改革担当大臣

文教厚生常任委員会審査報告

6月16日、付託された一般会計補正予算所管分、特別会計補正予算などの議案を審査。



歴史民俗博物館

歴史民俗博物館改修事業へ 3億6600万円

平成26年、27年の継続費として防衛施設周辺対策事業により実施する。

Q 改修内容は。また、駐車場の整備の考えは。

A 施設がオープンし、20年が経過している。身障者・高齢者にやさしいバリアフリー対応、内装工事、展示施設、建具、サッシ、空調の取替え等を行う。また、駐車場については、周辺の環境等もあるが、説明し、理解をいただき整備を進めていきたい。

Q 施設の場所がわかりにくい。その対応は。

A 誘導等少しでもわかりやすいように看板設置を考えていきたい。

Q 工事期間中の開館状況は。

A 26年10月から27年10月までを閉館の予定にしている。

インクルーシブ教育システム構築モデル事業に650万円

義務教育課程において、通常の学級に在籍する比較的軽度の障がいがある児童生徒に対し、障がいに応じた指導を行うもの（通級指導教室）である。

Q この事業の狙いは。

A 犀川小学校に町内で始めて設置した通級指導教室の充実を図るため、この事業に取り組んだ。また、通級指導をまず全学校へ広めていくことを主たる狙いとしている。

豊津陸上競技場

改修整備費に5404万円

豊津陸上競技場は、来年、日本陸連の第4種公認陸上競技場

の公認期間が切れる。継続して公認申請を行うため競技場の改修や備品整備を行う。

Q 競技場は多くの方が利用しているが、利用者のほとんどは町外者である。近隣市町から負担金をもらえないか。

A 現在は、みやこ町単独の予算で改修を行っている。広域の首長会議や体育協会等と話をしている。26年度中には、新たな方向性を出したい。



第4種公認豊津陸上競技場

水道整備事業へ 5億4686万3千円補正

Q 敷設工事等で対象地域は広がるが、利用者がいなければ、赤字経営となる。水道事業の必要性は認識しているが、費用対効果を検討し事業の拡大を。また、多くの方に加入いただけるような仕組みを作り、加入促進に努力していただきたい。

少人数学級推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1還元を求める意見書を国へ送付

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。2015年度政府予算編成において、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下の少人数学級を推進すること、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元することを要請するものです。

(送付先) 内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

平成26年度一般会計補正予算 15億4107万3千円

平成26年度一般会計当初予算は、人件費、扶助費を中心とした骨格予算として編成されていました。今回6月議会において、政策判断を要する経費15億4107万3千円の補正予算を可決し、一般会計予算の総額は114億5057万3千円となりました。今回の主な補正予算の内容を要約してお知らせします。

補正予算の概要

豊津保育所屋上改修事業

(担当課：住民課)

- ・豊津保育所屋上改修工事に伴う実施設計、監理委託料及び工事請負費

予算額：2675万円

(内2500万円は公共施設整備基金)



伊良原ダム周辺整備事業

(担当課：伊良原ダム対策室)

- ・森林公園整備事業基本設計、実施設計策定業務委託料

予算額：5625万8千円

- ・伊良とびあ公園整備事業基本設計、実施設計策定業務委託料

予算額：5419万5千円

※予算の財源は、いずれも伊良原ダム周辺地域振興基金繰入金



道路整備計画基礎資料作成事業

(担当課：建設課)

- ・道路整備計画基礎資料策定業務委託料

予算額：1400万円(町単独)

町内の幹線道路網及び域内循環道の路線整備計画を策定する事業

地域計画策定業務事業

(担当課：総合政策課)

- ・地域計画策定に係る業務委託料

予算額：300万円(町単独)

今川流域市町村連絡協議会負担金

(担当課：生活環境課)

- ・**予算額：20万円(町単独)**

昨年みやこ町、添田町、赤村、行橋市で協議会を発足、各自治体、一律に20万円を負担し、今川の自然環境リーフレットの作成や今川の上流域に植樹等を行う。

デマンドタクシー運営補助金

(担当課：総合政策課)

予算額：85万5千円(町単独)

現在、週3便で勝山全域で運行しているデマンドタクシーを、週5便に増便するための増額補正

議会の活動を報告します!

みやこ町議会では、開かれた議会の一環として、議会活動の内容を広く町民の皆様に理解していただくために、次のとおり議会活動を報告いたします。



**武田防衛副大臣に
築城基地に関する
要望行動を実施**
4月24日

防衛省において、武田防衛副大臣に築城基地周辺整備の充実強化を図るための要望を申し入れました。
主な内容としては、築城基地周辺整備に係る補助や整備の拡充、防音工事補助の範囲の拡大、安全面の確保などです。



**伊良原ダム
工事進捗状況を視察**
4月28日

ダム建設に係る水利権や海面漁協交渉が合意され、平成29年度完成に向けて今、大きく建設工事が前進しています。現地を視察し、説明を受けましたが、進捗状況は予定通りで、建設予定の数ある橋の橋脚部分がかかり出来上がっていました。
現地を歩き、周辺整備について考えましたが、過疎化対策も考え多くの人に来て頂けるような地域を目指さなければなりません。そして、やはりメイソンとなるのは森林公園・伊良とびあ公園であります。建設工事により景観が変わってきますが、希少な動植物や、綺麗な里山が維持されるように一層気を付けて参ります。

現地視察の様子

平成26年第3回みやこ町議会臨時会議案議決結果及び議員別議案賛否一覧表

議案名	議員名	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	大束英壽	柿野義直	熊谷みえ子	原田和美	中尾文俊	肥冢里和隆	浦山公明	議決結果
専決処分の承認を求めること (みやこ町障害程度区分等認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めること (みやこ町税条例等の一部を改正する条例の制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めること (みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	承認
工事請負契約の締結 (新光富団地法面地すべり防止工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結 (葬斎場火葬炉改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対。



みやこ町葬斎場

(工事契約の概要)
・新光富団地法面地すべり防止工事
(契約金額)
5188万3200円
(契約の相手方)
株式会社緑研産業
福岡市東区多の津
3丁目14番12号
(工期)
契約の効力の発生日から
平成27年1月30日まで
・葬斎場火葬炉改修工事
(契約金額)
1億590万4800円
(契約の相手方)
富士建設工業株式会社
新潟県新潟市北区
島見町3307番地16
(工期)
契約の効力の発生日から
平成27年3月25日まで

平成26年第3回みやこ町議会臨時会を開会 5月26日

**宮若市議会の
視察研修を受け入れ
5月20日**

宮若市議会の産業建設委員会委員の視察研修の受け入れを行いました。内容としては、公営住宅建替えに関する諸問題についてであり、住宅の家賃体系や、移転料の支払い等の質疑応答をした後に、町営今里団地の現地視察を行いました。



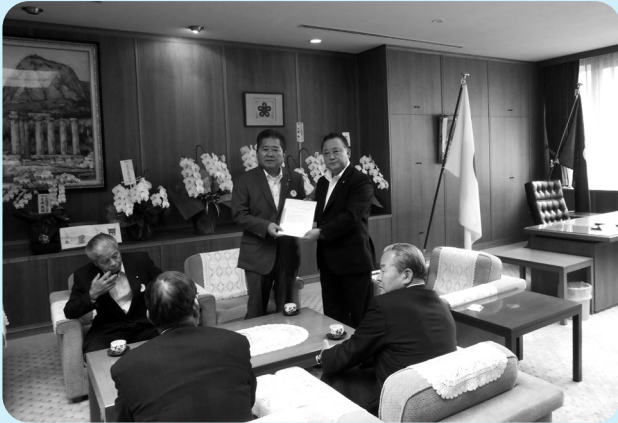
視察研修を受け入れ

**東九州自動車道に関する
要望行動を実施 6月25日**

東九州自動車道、みやこ豊津ICから上毛スマートIC間の料金優遇について、豊前市、築上町、上毛町、吉富町の議会議長や経済団体と共に、福岡県議会、福岡県高速道路対策室に協力を要請しました。

内容としては、ETC搭載車が一定時間の間なら、乗降を自由に出来るものです。

東九州自動車道の開通は地域の念願であり、この開通が地域の発展や振興に大きな影響を与えると考えられます。地域産業の振興や経済効果の向上に繋げていくため、今後も料金の優遇策について、要望をしていきます。



要望の様子

文教厚生常任委員会 町内小中学校を視察 7月8日

教育委員会と共に、教育施策の調査のため、今年度は犀川中学校、犀川小学校、伊良原小・中学校を訪問し、学校長より、学校の現状、教育目標等の説明を受け、授業参観、校内巡回、意見交換を行いました。

犀川中学校では、中学校区の各小学校へ出前授業や小学校6年生に授業見学などをさせて、中学校に上がる不安感を緩和させる取り組みがなされているとのことでした。犀川小学校でも、小中の連携を図り9年間を見通した教育目標を掲げ、小中の一貫性をもたせた取り組みを行い、また、体育の授業では、小規模な小学校との交流もなされているとのことでした。

現場の生の声を聞き、小中連携の取り組みが確実に進んでいるんだと実感致しました。伊良原小・中学校は、ダム建設の関係で、既に小中一貫校という形で授業を行っているようですが、少人数ということもあり、互いに思いやるなど良い面が多いとのことでした。

今後の学校教育は、小中一貫教育や施設の再編整備等で大きく変わろうと思いますが、我々議会としても、子ども達にとって最適な教育とは何かを常に考え、教育環境の整備に努力していきたいと思えます。



犀川小学校



伊良原小・中学校

全員協議会での報告

・伊良原ダム建設本体工事

伊良原ダム本体工事の契約が、6月の福岡県議会で承認されました。平成30年3月完成に向けて、いよいよ本体工事が始まります。伊良原ダム建設事務所には、施行業者に対し工事中の安全対策を、しっかりと指導するようにお願いしました。

・みやこ町学校再編整備計画の中間答申

みやこ町学校再編整備計画策定委員会の中間答申として望ましい小中一貫教育校の設置場所が示されました。

・みやこ町消防団再編整備計画

平成29年3月を目的にした消防団の再編計画が示され、部数、団員数ともに現状より少なくなりました。

(再編計画目標)

部数 45部
団員数 509名

月日	件名
4月2日(水)	節丸保育所閉所式
4月3日(木)	グラウンドゴルフ専用グラウンド完成記念大会
4月4日(金)	保育所入園式、産業建設委員会開会、みやこ町体育協会総会
4月7日(月)	広報特別委員会開会
4月9日(水)	中学校入学式
4月10日(木)	小学校入学式
4月11日(金)	総務常任委員会・議会運営委員会合同視察研修報告会開会、広報特別委員会開会
4月12日(土)	「みやこ町社協 春の燕路一座」公演
4月13日(日)	第8回みやこ町さわやかマラソン大会、第56回京都郡ロードレース大会
4月15日(火)	行橋京都地区戦没者合同慰霊祭
4月18日(金)	広報特別委員会開会、産業建設常任委員会開会、京築北九州東部振興会議理事会
4月23日(水)	犀川福寿会総会、京都郡町議会議長会
4月24日(木)	築城基地周辺整備に係る要望行動
4月27日(日)	みやこ勝山えびね展示会
4月28日(月)	伊良原ダム周辺整備に係る現地視察、うずめの会弁当作り試食会
5月1日(木)	郡長正公墓前法要(144回忌)、みやこ町E V急速充電器除幕式
5月8日(木)	東九州自動車道に関する議長懇談会
5月12日(月)	航空自衛隊築城基地協賛会役員会
5月14日(水)	県町村議会議長会第1回理事会
5月15日(木)	社会福祉協議会理事会、みやこ町歴史民俗博物館現地視察
5月17日(土)	シルバー人材センター定時総会、横峰氏講演会
5月18日(日)	中学校体育祭
5月20日(火)	宮若市議会行政視察受け入れ
5月22日(木)	行橋京都地区防犯協会総会
5月23日(金)	商工会第6回通常総代会、議会運営委員会開会
5月24日(土)	小学校運動会
5月26日(月)	第3回臨時議会開会
5月27日(火)	第39回町村議会議長、副議長研修会
5月28日(水)	第39回町村議会議長、副議長研修会
5月29日(木)	筑豊横断道路建設促進期成会定期総会
5月30日(金)	社会福祉協議会理事会、今里若者向け住宅完成竣工式
5月31日(土)	みやこ町文化協会総会
6月1日(日)	伊良原小・中学校運動会
6月2日(月)	議会改革調査特別委員会開会
6月4日(水)	京築北九州東部振興会議総会
6月7日(土)	花しょうぶまつり開会式、「花いっぱい祭」ギャラリー、ほたる観賞の夕べ
6月8日(日)	花しょうぶまつり、第3回豊前国府まつり
6月11日(水)	県市町村職員年金者連盟行橋京都支部総会
6月13日(金)	築城基地に係る防音工事に関する要望を受け入れ
6月21日(土)	蛇淵キャンプ場山開き
6月25日(水)	東九州自動車道に関する要望行動

※6月定例議会等の本誌に掲載されているものは除いています。



グラウンドゴルフ専用グラウンド完成記念大会



伊良原小・中学校運動会



蛇淵キャンプ場山開き



花しょうぶまつり

Q

井上町政、二期目の構想は

A

ハード面について基本計画を策定中



飯本 秀夫
議員

Q 今回、町長は無投票で再選されました。

町民の皆さま方は四年間の実績を顧みて「住み続けたい、みやこ町」作りを期待して再度、井上町長に町の将来を託したものと、我々も同様に考えているが、区切りとして、施策の再考も必要ではないか。町長は一期四年間に多くの施策を講じており、特にソフト面においては他の市町村には無い、医療支援策や就学支援策等々の住民サービスの実施により、高い評価を得ている所である。しかし、二期目の町政を預かるに当たり、限られた財政、今後も削減してゆく職員数の中で、見直し等

も余儀なくされる施策等もあるうかと考える。

そこでソフト面、あるいはハード面において希望的将来像について、今後の構想を伺う。

A 四年間、日本一元気な町にするんだと、強い決意を持って就任し、色々な施策を講じる中で、まず、みやこ町を多くの方に知って貰う為、

ホームページの充実を図ると共に、住民参加を喚起する目的で、自由なネットカフェを開設。子育て、並びに定住促進対策の一環として、結婚祝い金、出産祝い金、住宅助成金、就学、就農支援制度を新設した。また、交通弱者に対応するため、乗合タクシーを導入し過疎化対策に努めた。その他、国際人育成のため、小学生の英語学習活動発表会、中学生の英語スピーチコンテスト、海外ホームステイ事業等の施策を講じてきたが、見直す点はあると感じた。ソフト面では情報発信の要

となるホームページの再構築で、更なる充実を図る。子育て支援の拡充対策、また、保護者への支援体制として放課後児童クラブ、出産祝い金等の拡充、保育料の負担軽減、さらに、乳幼児から高齢者までの健康維持管理を徹底的にフォローしていく。



海外ホームステイ事業事前研修

Q ハード面（箱物等）については、どのように考えているか。

A 公共施設の在り方については、基本計画を策定中であるが、更なる住民サービスを維持するためにも、完全な本

庁方式を早急に実施する考えである。合併により重複する施設や、他の公共物については統廃合もしくは、用途変更も視野に入れながら検討し、議会の同意を得て順次実行する。



今後、公共施設はどうなるのか

（報告）町長と幾度と無く協議をしてきた果樹園跡地の利用方法については、国県が新たに発足させた「農地中間管理機構」を介すれば、有効利用が可能となったので報告する。



馬 勝 中 議員
田 中 勝 馬

Q 道路網のインフラ整備と危険個所道路の拡幅は緊急の課題

A 路線整備計画の策定に取り組むための予算を計上している

Q 国道496号線、豊津の錦町と国分線の一部は道幅が狭く、歩道もなく、子どもの通学路としては危険極まりない。従って、祇川から国分を通って、マルシヨク前を突き抜け、今川線に直結する幹線道路ネットワークのインフラ整備は重要不可欠である。

A みやこ町の発展のためには、早急な幹線道路網及び地域循環道の整備が必要と考えている。

Q 今回、総合計画の見直しに際し路線整備計画の策定に取り組むための予算も計上しており、整備促進に努める。

Q 東九州自動車道インターチェンジも間もなく開通するが、地域の活性化をどのように考えているのか。

A 北九州市都市圏や大分県

北部への通勤が可能になる利便性を最大限に生かし、空き家バンク、住宅助成金、結婚祝い金等の見直しを行うなど、定住促進を図ると共に、ソフト施策の有効な方策を検討し推進する。



幹線道路の整備を

Q 都市計画審議会条例の目的は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るとい目的の出発点、町の将来像に近づこうとする計画だと思いが、どのように取り組まれているのか。

A 都市計画に関して意見を伺う重要な案件が出てきた場

合に開催し、審査を行うために設置しているが、これまで特別な案件が無かったことから、平成24年10月以降開催していない。

観光行政

豊津八景山公園の整備

Q 八景山公園をリゾート化して、町めぐり観光ルートの整備をはいかがでしょうか。

A 豊津地区には多くの文化財、文化施設がある。大切な文化財として後世に引き継ぎ、町内に点のように存在する観光資源を線で結び、自然や歴史、文化などのテーマ、あるいはターゲットとする年代といった様々な視点に立ち、現代のニーズに合った観光ルートを策定し、観光客が町内を周遊しやすいマップを作成する。

Q 著名人の碑を八景山に集め、観光文化の歴史公園にしてはどうか。

A 各地区で顕彰会など著名人ゆかりの地として大切に保管している所もあり、一か所

に集めることについては、今後どのような施策を講じたらいいのか、関係者の皆さんと相談しながら検討する。

Q 豊津学習等供用施設を解体し駐車場に、老人憩の家を改築し宿泊施設にしてはどうか。

A 現在は発掘調査で出土したものを保管する収蔵施設として使用している。

今後、施設の利用については行財政改革検討班で協議したいと考えている。



豊津八景山公園の整備を

Q

福祉施設について問う

A

経費の節減、施設の充実を図りたい

Q 将来を見た時、少子高齢、人口減少、町財政状況の停滞、人口減少による税込減等も予想される。合併算定替の特別分10億円が減り、公共施設維持管理費、補修費が今後さらに増加し、福祉医療費等の影響により財源の減少が加速度的に増加する。

A 今現在、みやこ町は「新築ラッシュ」であり、必ず近い将来財政的に非常に困難な状況になる。今、危機的状況にある事を認識しなければならない。施設の要らない物と利用できる物の仕分けを行い、しっかりと施設経営をして頂きたい。ゆいの郷などは今から利用価値が大であり、本庁



中尾 昌廣
議員

方式は行政の為のサービスであり、住民サービスにはならない。

Q 国保医療費は県内で我が町が三位であり、頼みの年金は下がり高齢者難民が現実に予想され、早急な取り組みが必要である。大災害の時など、これから本当の意味でなくてはならない施設である。

A 将来的には維持管理費が現在より増額になり、財政規模を考慮した時、経費の節減、施設の充実を図りたい。

観光協会について問う



みやこ町総合観光案内所

Q 観光協会について、協会設立は大賛成であるが、新しく土地を購入し、建物を建てるように、今ある豊津観光案内所を利用するべきではないか。箱物行政は必ずツケが来る。

A 町外からの観光客の利便性を第一に、案内所のあり方を検討していく必要がある。

伊良原小中一貫校について問う

Q この建設は時間が経つにつれて余りにも無謀な計画であり、デメリットが多すぎる。

来春には生徒が7人卒業し、在校生が5人である。また、三度入札が失敗し、二度目の設計料も5300万円であり、総額8億9000万円に上り、最後には10億円になるのではないか。後の維持管理はどうするか。また、後に何

かに使うつもりなのか。今後を見て、行政の大きな負の財産になれないか。

A (教育長) 入札不調であり、実勢価格を把握し、財源の調査が終わり次第報告する。



伊良原小・中学校建設予定地



原田 和美
議員

Q 京都森林組合に 補助金を出すのか

A 出さない方向で考えている

補助金と工事請負について

Q 京都森林組合が1億8千万円も利益を上げ、役員に10万円の旅行券を配っている。それでも補助金を出すのか。

A 京都森林組合の補助金50万円は出さない方向で考えている。

Q 工事請負費について、平成24年度に福岡県から荒廃森林再生事業費5816万円が

来ている。その中で工事請負

費が3322万1350円になっている。残りの2500万円は何に使ったのか。

A (久保産業課長) 平成24年度については詳しい資料が無いので、使っていない額については答弁できない。森林組合に対する工事請負費などだが、平成25年度は調査委託業務が745ヘクタールで7

61万2500円、工事請負は129ヘクタールの間伐を実施し、3889万3千円である。



間伐の様子

ケート調査をした結果73%の方より回答をいただいた。
Q 検討委員会で決まった小中一貫校の建設費用はいくら

か。

A (教育長) 再編整備計画で出てきた、小中一貫校を各地区一校にするという事は検討中。工事費の事も今は答申が出ただけである。

Q 建設費用は合併特例債を充てると言っているが、合併特例債は借金である。検討委員会があったら町内で一校にするように言っている。

**学校在り方検討委員会の
答申について**

Q 学校在り方検討委員会は答申を出す前に、児童の保護者の意見を聞いたのか。

A (教育長) 学校在り方検討委員会は16名で小中学校のPTA会長や親代表の方など6名に入っていたいただき、アン

また、毎年生徒数は増えているのか。

A (教育長) ひとつの意見として、小中一貫校を一校にするのか、いつできるのか、という事については、この答申を受けてから、本格的に協

議をしていく。生徒数については減少している。



学校再編整備計画策定委員会

職員の配置について

Q 今回の人事異動には、条例規則等の変更が必要なかったのか。

A 条例に基づいて実施しており、最善の配置をしたと考えている。

Q

町の非正規(臨時)職員に 安定した職場を

A

専門職などは5年以上の
継続採用もある



直 義 野 柿
議員

町の臨時職員の雇用期間 など待遇改善を

Q 採用募集時に前任者をどう取り扱うか。

A 1年契約だから、前任者は希望があれば応募していただくことになる。

Q 現状では募集段階で内定者はいるのか。公平な採用を保証するにはどんなことが考えられるのか。

A 担当課長が責任を持って採用をしている。

Q 生活を安定させる上から、10年程度の雇用期間の設定が望まれる。

A 今は、通算して5年までの更新が限度。ただし保健師、栄養士、保育士などは必要に

応じて、継続雇用している。教員の超過勤務の縮減で生徒と向き合える時間の確保を

Q 学校現場で教職員の置かれている超過勤務の状態を改善する方向性を示すべきだ。

A (教育長) 福岡県教育委員会は教員の勤務実態について、今年度、調査を行っている。平成22年度から超過勤務縮減に向けて、原因や解決方法を検討し、学校として具体的な内容を決定し取り組むよう指導している。

Q 研究発表や学校関連事業などの処理、生徒の問題行動などの処理に時間を取られていることはないのか。

A (教育長) 平成18年の文部科学省の調査によると、教員の残業時間は小学校で1日1時間40分、中学校では2時間10分。業務内容でみると生徒指導に1時間20分、授業の準備や成績処理に1時間30分。児童生徒のトラブルなどの解決に向けた指導など勤務時間



元気な学校現場を!

外における対応は増加する傾向にある。

Q 教員は足りているか。

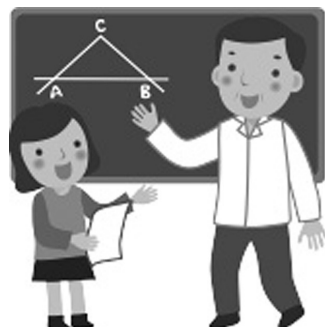
A (教育長) 非正規雇用の教員を講師として当てて定数を満たしている。これを定数欠と言いつ、4月1日までにクラス数が確定しないため教員でなく講師で調整するというもの。授業を行う講師は10名おり、大変増加している。教育事務所に改善の要望をしている。原因として早期退職者

や特別学級の新設があり、それを補う講師不足が挙げられる。現在でも配置されていないところが数件ある。

町の財政を町内に還元し、真に町を元気づけるために

Q 合併以来、町民に負担をかけ、人件費を削りサービスを切り捨て、ため込んだ積立金で大型公共工事につき込んでいる。国や県の行財政改革の名のもとに「あれも、これも」から「あれか、これか」と統廃合を言うが、新たに大型事業を計画している。結局、町のお金が大手ゼネコンなど町外に吸い取られるのでは町は活性化しない。

A 今後、町内の皆さんが仕事を受けられるようにしていきたい。





熊谷みえ子
議員

Q 肺炎球菌予防接種補助などの検討を

A 10月から実施を目指して検討を行っていく

Q 福祉行政・健康づくり
肺炎球菌予防接種補助などの検討をして欲しい。日本人の死亡原因の第3位が肺炎であり、亡くなる方の95%は65歳以上の方。肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌と言われ、全体の4分の1を占めている。1回の接種で5年以上効果が持続する。公費助成を検討すべきではないか。

A 予防接種は、病気の発症を予防し重症化させないために、住民の皆様の健康を守る重要な対策である。10月から実施を目指して検討を行っていく。
住民の利便性・地域の活性化対策のためにも支所の存続を求める

計上。今後改修工費が7650万円。今度の予算には、一切反映をされていない。8000万円があれば、住民福祉に使えるではないか。

A 職員数が減少する中、住民の多様なニーズに対応するため、事務の効率化と意志決定の迅速化を図る必要があることから、本来の配置に集約する。

Q 職員の減少をいうが、非正規、嘱託の方かでも対応している。

8000万円で済むとは思えない。約1億円以上かかるが費用対効果をどう考えるか。行政運営をする中で、必要性があって今の体制を確立してきた。検証をきちんとしていただきたい。

A ゆいの郷を潰す話については、住民の方にとっても寝耳に水である。
A 本庁方式でやっていききたい。

子育て支援として

Q 「義務教育はこれを無償とする（憲法二六条）」という理念に基づきすべての子どもの給食費を無料化にすることを検討してはどうか。

A 町立の学校に通学されている児童生徒のみでなく、私立、県立学校の児童生徒もあり、これらの子どもたちの対応をどうするのかなど、現在においては困難と考えている。



給食の無料化を

みやこ町学校再編整備計画について

Q 学校統廃合について、地域・保護者への説明会開催などはどうか。



町政懇談会の様子

A (教育長) 最終答申後に、町としての方針を決めていかなければならない。その段階で、いろいろな説明会等は実施していく。

町政懇談会は、今年度は9カ所で実施することで、再編整備計画の中間答申の内容は、時間をかなりとって説明をということ、総務課等とも調整をしている。

Q 小中一貫教育によって統廃合が進められ、全国的にいろんな弊害が出てきている。振り回される状況があるということはぜひ調査をし、理解をしていただきたい。

Q

みやこ町全域に 高速通信光ファイバーの 普及整備はどうなっているのか

A

来年12月末までに
町内全域に敷設する



小田 勝彦
議員

- Q** 若者定住や企業誘致するにはインターネット光回線への整備普及が急務ではないか、再三質問や提案をしてきたが進捗状況は。
- A** 町の取り組みとして町内全域をエリアとする調査設計を昨年度終了し、来年12月末までに敷設する。
- Q** 町内全域に敷設出来るのか。
- A** 今年と27年度の2カ年にわたる債務負担行為を設定して、町全域に光ファイバー回線敷設工事を完了し、町内全域にインターネットに接続出来る事を条件に事業者に折衝する。
- Q** 光回線の利用はいつから出来るか。



インターネット光回線の早期敷設を

- A** 工事期間中でも提供可能な地域から順次開通し、平成28年当初には町内全域が光高速通信エリアとして整備される。
- Q** 債務負担行為での2カ年の計画であるが消費税がアップした場合の対処は。
- A** 工事完了後、町は負担金として支払うので増額は無い。
- Q** 町内全域に光回線が敷設されるが維持管理費についてはどうなっているのか。
- A** 民設民営方式で取り組みため維持管理費は発生しない。

- Q** 役場機能の一本化について
- A** 役場機能が分散され町民の多くの方々が非常に不便である。経費のムダを無くすため、役場機能を一本化し、住民サービスの拡充をはかり経費削減に努めるべきではないか。また、「ゆいの郷」を来秋までに勝山庁舎別館として改修する計画については。
- A** 事務の効率化と意思決定の迅速化を図る必要性、本来の配置に集約する。
- Q** 「ゆいの郷」改修についてはどうなっているのか。
- A** 今年度、調査、実施設計を行い来年早々工事に着手し、27年度秋には完了する予定。入浴施設の浴室部分を改修し、事務室とする。
- Q** 入浴施設は三方所で、七千万円も赤字が出ている。入浴施設「いこいの里、すどりの里」の今後の取り組みは、どのように考えているのか。
- A** 統廃合や用途変更を含め検討する。

- Q** 「ゆいの郷」の用途変更に伴う補助金の返却は発生しないのか。
- A** 地域総合整備事業債での施行であり、返却は無い。
- Q** 学校再編について
- A** 文部科学省は小中一貫校を制度化して、「公立の小中一貫校の権限を持たせる」と報道されたが町の学校再編については。
- A** (教育長) 学校再編整備委員会では4、5月に各地区部会の議論を行い、7月上旬の中間答申に向けて検討中である。最終答申後、町の実施計画の位置づけや財源など調整を図り、検討していく。



いこいの里



中山 茂樹
議員

Q 若者定住促進住宅についてはどうなっているのか

A 若者向け住宅建設に、積極的に取り組みたい

Q 若者定住促進住宅の応募状況を踏まえ、次期建設計画はあるのか。また、今里住宅跡地の分譲計画について尋ねる。

A 若者住宅の募集件数は16戸に対し、問い合わせが38件あり、実際の抽選応募者は21名であった。入居者としては、町内からの入居者が10戸31名、町外からの入居者が6戸18名の計49名。その内訳は大人32

名、小学生2名、乳幼児15名となっている。

若者向け住宅は、16戸全て入居者が決まり、住宅ニーズの高さが証明された。今後も定住促進を目的とした若者向け住宅建設に、積極的に取り組みたい。

若者住宅横の旧今里団地の跡地は、定住化に向け分譲するか、十分検討したい。



若者の定住促進を

Q 農林産物の消費拡大を目的にゆつくりと休息や食事を楽しんでいた場所として、「みやこ町でしか食べられない」をコンセプトに、こだわりのあるメニューを提供する施設として計画し、建設に向けた検討がされている。

Q 農産物消費拡大農家レストランと犀川四季犀館では平成26年度計画において11月を目途に、飲食店と休息の場を兼ねた施設を建設したいと有る。支援策を考えているか。

農家レストランと犀川四季犀館

Q 農林産物の消費拡大を目的にゆつくりと休息や食事を楽しんでいた場所として、「みやこ町でしか食べられない」をコンセプトに、こだわりのあるメニューを提供する施設として計画し、建設に向けた検討がされている。

Q 犀川四季犀館では平成26年度計画において11月を目途に、飲食店と休息の場を兼ねた施設を建設したいと有る。支援策を考えているか。

Q 豊津「すどりの里」、犀川「いこいの里」、両施設とも風呂と和室、調理場があり、今後施設の統廃合を考えると、例えば、特別養護老人ホームにするとか、民間に委託し介護施設に変えるとか、構想があれば聞かせて頂きたい。

Q 旧犀川町において、両施設を結ぶことにより有効活用出来ることから、調査、計画、設計まで実施した。旧町時代に検討された事を踏まえ、今後の検討課題とする。

公共施設の有効利用

Q 「犀川運動公園」と「いこいの里」を車道と遊歩道を作り、両施設を結び有効利用する考えはないか。災害時には両施設とも避難所になっているが、道で結ばれていた方が有効である。

A 旧犀川町において、両施設を結ぶことにより有効活用出来ることから、調査、計画、設計まで実施した。旧町時代に検討された事を踏まえ、今後の検討課題とする。



人工芝のサッカー場を

Q 老人ホーム等の施設に出来ないかという指摘に対しては今後の課題とする。

Q 今議会に各種団体から人工芝のサッカー場設置の要望書が出ている。県大会以上は人工芝で試合が行われている。日ごろから芝での練習が必要不可欠である。町長の英断をお願いしたい。

A 現在は多目的運動場として利用しており、設置する場合の予算確保、施設管理体制や、使用料金等、問題が予想されることから、体育協会、関係スポーツ団体及びスポーツ推進審議会などにも諮り、検討したい。犀川中学校サッカー部が九州大会3位になり、表敬訪問をされた。頑張っている事は充分承知している。

Q 光ファイバーの利用は

A 平成28年当初には町内全域で



柿野正員 議

Q 速度、安定性において、最も優れた通信回線と言われている光ファイバーの整備計画及び活用計画を伺う。

A 今議会で光高速通信網整備のための予算化後、早急に通信事業者を公募し一日も早い環境整備に努める。民設民営方式で行うので、通信事業者に対し、光ファイバーの敷設工事を来年12月までに町内全域で完了するように事業者に折衝し、平成28年当初には町内全域が高速通信エリアとして整備され、インターネットサービスを受けることが出来るようになると考えている。活用計画については、町のホームページの再構築をはじめ

め、各種データのクラウド化、積極的な企業誘致を展開したいと考えている。

Q 各世帯が使用をする場合、費用はどのくらいを想定しているのか。

A エリアが新規に開設された場合、キャンペーンをする場合が多いので、工費は無料となるケースが多く、手数料の数千円で済むと聞いている。

Q インターネットの活用には、パソコン講座、随時に講座が開かれ、いつでも学習する事が出来る環境を作る必要があると思うが。

A 今、隣保館のネットカフェで近所の方に指導してあげようになっているので、その方たちが輪を広げて頂ければと思っている。

お客様用駐車場の確保を

Q この質問は町民からの苦情電話からで、「私たちは体育館を定期的に利用しているが、駐車場が空いて無くて、探すのに大変。周囲を見ると



ネットカフェの風景

役場の方の車と見えますが、この対応は少しおかしくないですか」との問題提起である。地方自治法第238条の規定により、行政財産の使用は許可する事ができませんが、公共施設に付随した駐車場は、公用車、お客様用にあると思うが、適正に管理運営されているか伺う。

A それぞれの施設管理者によって適正に管理運営している。なお、複数の公共施設が近接する場合は、それぞれの施設での利用を優先して相互に融通しながら利用しているのが現状である。

Q 行政財産は原則、職員の駐車場として利用できないのでは。

A 今までの慣例として、役場の職員については敷地内の駐車場を使用してきている。

みやこ町財務規則第203条(行政財産使用許可の範囲)

- (1) 食堂、売店等厚生施設の設置
- (2) 学術調査、研究等その他公益目的のための講演会、研究会等に短期間供するとき
- (3) 国、地方公共団体等が公益を目的とする事業に供するとき
- (4) 災害等の緊急やむを得ない事態発生時、短期間その用に供するとき
- (5) その他、町長が特にその必要があると認めるとき

（その他の質問事項）
空き家火災の防止対策



金房眞悟
議員

Q 町道、農道等のインフラ整備は喫緊の課題である。特に受益者負担で整備された県営圃場整備事業は、舗装を残すのみの整備がなされる。町道の幹線道路も多いので、現地を精査し町道認定をしてはどうか。

A 現地を精査し町道認定基準を満たせば認定できるの
で、実施していきたい。

Q 町財政改革
町財政状況は100億円の債務状況で良い見通しではない。現在合併特例債、合併交付金、ダム関連事業等で予算的には大きいですが、中身は少ない。今後は、国や県の補助事業採択を要望する。そのためには職員の研修、研さん、仕事に情熱をもって取り組むべきであろう。

億単位の調査、設計予算の計上には驚かされる。毎度経常費の節減を質問するも、データの報告が無い。今後の財政を、どう見通されるか。

A 当町の財政は地方交付税、合併交付金、合併特例債等、国や県からの財政支援が大きな割合を占める。合併特例債で措置された地方交付税は平成28年から減額され、平成33年度には現在より10億円程度減額が見込まれる。

合併交付金は平成27年度、特例債は平成32年度の期限付きである。国や県の補助金、交付金の活用が必要になる。その採択に当たっては、職務における専門的、技術的能力はもとより、補助金制度の情報をも早く収集、活用する能力が求められる。今後研修や説明会に参加させ、職員の意識付けや能力の向上に取り組む。展望は厳しいものがあるが、経費削減、財政確保に取り組む。

健康・福祉

Q 健やかに老いる「生涯健康、生涯現役」を推進している中、医療介護の法改正で「増す負担、減る給付」となっている。国保会計が厳しいが、特に健康教育推進を。

A 国保の厳しい財政状況が続くと予想される中、個別保健指導や社会福祉協議会の地域サロン健康づくり活動、高齢者の生きがいづくり等に取り組んでいきたい。



健康増進を！

がんばっちよる

ほたる観賞の夕べ 実行委員会

開催した勝山上矢山地区は諫山地域の北、平尾台砕石現場の裾野に位置し、明治31年までは企救郡（現在の小倉南区）に属しており、明治32年に京都郡に編入した地域です。人口は現在13世帯25人で、既に限界集落化しています。地区民は、一人、二人と町内外に転出し、今日に至っており、このままでよいのか、考えるも妙案は・・・

きっかけは昨年の10月に地区民が帰郷した時「ここは、ほたるがたくさん飛ぶので、ほたるに応援してもらったら」との冗談話でした。その後2月から毎月2回のペースで、実行委員会を行いました。最初は意気込みがあったものの、なかなか要領を得ず、会議がはかどらないのが現実でした。しかし、みんなで相談する内に、曲がりなりにも前へ少しずつ進み、会議を3回4回と重ねると、目的に一步、一步と近づき感じがして

きました。当初「地区外からたくさんの方が来ると、迎えるための準備は大丈夫なのか」等の意見もあり心配でしたが、次第に「ほたるが一番飛ぶ時期を開催日としなければならぬ、いつにするのか」「駐車場はこうするのか」「どんなイベントにするのか」等、着々と目的が具現化していきました。



イベント会場でのコーラス

開催日の6月7日は雨の心配もなくほたるが飛ぶ最適な天候となり、町内外から多くの来客を迎えることが出来ました。

来客数は皆目見当がつかず心配していましたが、駐車場とした諫山小学校からのシャトルバス2台も、休む間もなく会場とのピストン運行となり、盛況に迎えることが出来ました。



ほたるも応援

振り返れば地域の方はもとより、地域外の方のご協力、報道関係者の方の情報発信のおかげが功を奏したと思っております。

次回には反省を踏まえ、地区民一同、より高いレベルのおもてなしの心で、皆さまをお迎えしたいと思いますので、どうぞ来年もおいでください！

連絡先

ほたる観賞の夕べ実行委員会

代表 丸山 健二

TEL 090-8839-9794

議会広報 特別委員会

- 委員長 熊谷 みえ子
- 副委員長 小橋 本彦
- 委員 橋本 真助
- 委員 柿野 正喜
- 委員 中野 喜彦
- 委員 上田 重光

発行責任者

発行責任者 上田 重光

発行日：平成26年8月1日
発行：みやこ町議会

〒824-0892 福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
TEL0930-32-2511 (内線301・302)
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会
印刷：(有)京都印刷

議会の傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。
9月定例会の招集日は9月9日となっております。詳細については、ホームページや防災無線等でお知らせします。
本会議中継を本庁及び各支所ロビー設置のテレビでも放映いたしますのでご覧ください。

編集後記

「集团的自衛権」行使容認で、日本の平和国家の在り方が大きく変わろうとしています。

町政も井上町長の二期目の就任で「日本一元気な町づくり」の再出発です。合併から8年が経過し、ソフト事業からハード事業へと転換されようとしています。6月定例会補正予算で今年度の政策や事業が提案され、本格的に予算化されました。

行財政改革、学校再編などを含め10名が一般質問を実施しました。焦点になったのは「本庁舎を集約する」提案に対する質問であり、その他の内容も活発な議論が交わされ閉会した議会でありました。

残暑厳しきおり、皆さまにおかれましては、一層お身体をご自愛ください。

(小田)

